

2020年（令和2年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2020年1月28日）
第21回山のトイレフォーラム案内とNO.21ニュースレターを会員及び関連団体へ約400通送付しました。
2. 令和2年度定期総会を書面総会で実施（2020年5月19日）
第21回フォーラム開催日の3月14日に定期総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止から書面総会に変更しました。令和元年度事業報告、会計報告、令和2年度事業計画案、予算案、運営委員案について承認されました。
3. 第21回山のトイレフォーラム中止（2020年3月14日）
第21回山のトイレフォーラムを札幌エルプラザ・環境研修室1・2で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止から止む無く中止しました。テーマは「トムラウシ・美瑛富士の成果報告、そしてこれから」でした。
フォーラム資料集は全てホームページに掲載しています。印刷した資料集は行政や関係山岳団体に約100部送付しました。
4. 美瑛富士トイレ管理連絡会による点検パトロールの実施（2020年6月28日～9月27日）
2015年に開始した美瑛富士避難小屋へのテント型携帯トイレブースの試行的設置は5年間実施され維持管理の点検パトロールを実施してきました。5年目の昨年9月10日に環境省が念願の固定式携帯トイレブースを設置しました。
今年は固定ブースが設置された初年度の点検パトロールでした。「美瑛富士トイレ管理連絡会」による点検パトロールは下記のとおり全部で6回実施することができました。
 - ・6月28日（日）…固定式携帯トイレブースの冬囲い外し（環境省・美瑛山岳会等）
 - ① 7月19日（日）…札幌山岳連盟：9名
 - ② 7月26日（日）…北海道山岳連盟：6名
 - ③ 8月2日（日）…道北地区勤労者山岳連盟：10名
 - ④ 8月16日（日）…山のトイレを考える会：3名
 - ・8月30日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：16名（荒天のため中止）
 - ⑤ 9月15日（日）…北海道山岳ガイド協会：2名
 - ⑥ 9月27日（日）…大雪山国立公園パークボランティア連絡会：8名固定式携帯トイレブースの冬囲い（環境省）
（備考）日本山岳会北海道支部は当会の調整ミスで実施できませんでした。

5. 裏旭野営指定地への携帯トイレブース設置に向けた現地調査の実施

(2020年7月18日～19日)

裏旭野営指定地にはトイレがありません。当会事務局運営委員4名で裏旭に一泊して現地調査を実施しました。

水も豊富で景観も素晴らしい野営地ですが、身を隠す場所が殆どありません。登山者が携帯トイレを持ってきても、どこで使うのか困惑する場所です。

残念ながら今回の一度の調査では聞き取り調査の件数(12件)も少なく、皆さんどこで排泄しているのか掘り下げた調査はできませんでした。2021年も現地調査を実施する予定です。登山者が安心して携帯トイレを使える野営地となるよう、携帯トイレブースの設置に向け取り組むこととします。

6. 山のトイレマップの配布(2020年7月～10月)

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が2018年7月10日に発表されました。当会では、昨年に引き続き、少しでも宣言に寄与できるよう、山のトイレ、携帯トイレブース、携帯トイレ回収ボックスの位置、登山口近くの販売店が載るトイレマップを作成し、各所に配備・配布しました。

配備先は宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署などの協力をいただき、大雪山国立公園の13カ所で7,500部、知床、利尻山等で2,000部、全部で9,500部配布することができました。

7. 大雪山国立公園の携帯トイレ回収ボックスに洗濯カゴを配備

(2020年6月27日～7月16日)

大雪山国立公園には現在、11箇所の登山口に回収ボックスが設置されています。

今回、当会の費用で洗濯カゴを購入、環境省の協力を得て、全ての回収ボックスに2個ずつ配備しました。

使用済み携帯トイレの回収を担っている町役場の廃棄物収集者が直接手に触れることなく回収でき、不快な思いを軽減し衛生的になったと思います。

8. 北海道や環境省主催等の会議に出席

1月、新得町で開催された北海道十勝総合振興局主催の「トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト」会議に出席しました。その後の会議はコロナ禍で中止が相次ぎましたが、環境省主催の「大雪山国立公園の協力金について」(11月)や「表大雪地域登山道維持管理部会」(12月)はリモートで参加しました。会議では山のトイレの現状や当会の活動を報告し協力をお願いしました。

(以上)